## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の	有無無無		電話 042 (	769 ) 8341
担当部課名	保健福祉部    ▼	保育課	課 ▼	管	理    係 ▼
事務事業名	保育園職場研修「ファン	ソタジー研修」		事業コード	13110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第	6	章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第	3	節	文化視点に立った行政の推進	3 一 年度
施策名	第	1	施策	文化視点に立った行政の推進	→

2 実施根拠及び関連法令等 地方公務員法39条、相模原市職員研修規程

## 3 事業概要

(1)事業の目的		(2)対象(誰、何)
・職員の資質の向上を図り子どもの豊かな成長と発達で		保育園職員
・各園が情報を交換し意見を交し合うことで、視野が反	ムがり子どもや保護者への対	
応にも、新たな視点と創意工夫のヒントを得る。	T 10 = 14 - 1 - 1	
・事務事業評価の対象事業については、「保育園職場研究の事業は、名人の個別の研究からなっているが、保		115
の事業は、多くの個別の研修からなっているが、保育 た「ファンタジー研修」を選定し評価する。	ョエの貝負門上を日的と し	<b>対象</b> 18名
(3) 平成13年度事業の内容	(4)総合計画・実施計画に	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		りりる版女
研修日数:9日	なし	
期 間:一年間 対 象:18人(副園長、主査、主任、保育士)		
対 象:18人(副園長、主査、主任、保育士)		
内 容:食育について三つのテーマでグルー		
プごとに取り組む。		
A グループ:「楽しく食べる環境」について	(5)個別計画の概要	
B グループ: 発達に応じた対応を		
Cグループ:食べる意欲について		<u> </u>
講師謝礼 :72千円	計画年次年	度~ 年度
HE HINDUTE • 1 4 1 1 1		

4 評価指煙

4 計1川1日	尓				
指標名		研修目的の明確性 (子どもにより良い食生活を提供 する)	研修受	受講者の満足率	
指標式	受講者	0ねらいが明確と回答した 5数/全受講者数×100	受講者数/全受	達成感が高かったと回答した を講者数×100	
指標設定 の意図	識さt	のねらいを受講者に明確に認 せることにより、より効果的、 的研修をめざす。		専門性を高めより効果的	

5 目標と実績 〔金額単位:千円〕

ا ر			_					「正説士庫・コリノ
	/	平成11年度	平成12年度	平	成13年度(訂	平価文	寸象年度)	平成14年度
		実績	実績		実績		目標	目標
	指標		90	а	89	Ь	100	100
	指標		100	C	83	а	100	100
	指標			е		f		
	決算 (予算)額		64		72		90	72
事	人員・時間数		189時間		175時間		175時間	161時間
業	人 件 費		790		731		672	672
赤	その他経費		0		0		0	0
_	合 計	0	854		803		762	744
	持定 財源		0		0		0	0

## 6 個別評価

(1) 達成店	せい目標をとれたける	EDX しにん						
評価	A:達成している	( .	100%)					
В	B:一部達成していた	:%100) ا	> 80%)	= ,	、 の <sup>፯</sup>	区均值	<u> </u>	86.1%
ļ	C : 達成していない	( 80%>	)					
a	88.8		C	83.3	400		2 201	e100
<u>b</u>	100.0 × 100=	88.8%	d	100.0	—× 100=	: 83	3.3%	<del>c</del> × 100=
理由:		ふげすぎて	-		引がかかっ	てしま	こった。	ポイントをしぼった方が効率的に検討でき
(2)必要性	せ・・・ 時代変化に適応	」た事業	内容か					
評価	A:適応している	理由:	毎年時宜	を得たテース	マの設定を	を心措	計けて	เงล.
A ▼	B:一部適応していない							
	C : 適応していない							
(3)経済性	<u> せ·効率性・・・費用対効</u>							
評価	A:妥当である	理由:						<b>習得した知識を日常保育の中で他の</b> 顒
A <b>~</b>	B:一部妥当でない		員及び子	どもたちに通	囲できる	ので	費用的	対効果は妥当である。
<del></del>	C:妥当でない	- (D dol	() 10 - + 10	<del></del>	<u> </u>	<u> </u>		
	D代替性・・・県、民間と							
評価		埋田:						がり、よりよい食生活を子どもに提供
A	B:代替の可能性低い C:代替の可能性高い		9 るため0	り取り組みと	し(里安	じめり	、分化	<b>後も実施すべきものである。</b>
(5) 古民港	C・N質の可能性高い   	 	にわている	2 h)				
評価	A:満足できる				<b>全車理培</b>	<u>ωΤ</u> :	土!	つながり保護者にも満足は得られるとす
A <b>→</b>	B:一部満足できない	连四.	職員の息 える。	瞰(八)미, 工, 八,	艮争垛况	υ) <u> </u>	<b>人に</b> .	ノながり休暖日にも側には待りれると?
A	C:満足できない	1	んる。					
(6)有効性	ま・・・・当該事業は上位の	の施策を	実現するト	で有効か				
評価	A:有効である				身の健全	な成.	長. 斜	と達を促し生涯の健康にも関係する
A -	B:一部有効である	- TH .		割を担ってい			L 71	
.,   .	C:有効でない			1,0,2,2	- 00			
	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>				成果向	上の	余地	
評価バ	ハノステヤード	成度 上			成果向	上の		
評価バ	ブランスチャート <sup>達</sup> A					<u>上の</u> <b>あ</b>		説明: 受講者の発表から見るとねらいどう
評価バ	A B		N. W. IV.		成果向		る	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ
評価バ	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		必要性			あ	る	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに
評価バ	A B		必要性			あ	る	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ
評価バ	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		必要性			あな	るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに
評価バ	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		必要性			あな	る い <sup></sup> <sup></sup> ・ 地	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。
評価バ	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		必要性			あ な 対善弁	るいは地	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明:
評価バ	A 有効性 C 市民満足度		必要性経済性・	効率性		あな	るいは地	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 <b>説明:</b> 講師は、業務としておこなっている講師
評価バ	A f 放性 C C			効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	る い <sup></sup> も る	受講者の発表から見るとねらいどうりの成果がもう少しというところがあり、検討段階で十分話し合うことにより、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く
評価バ	A 有効性 C 市民満足度			効率性		あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	る い <sup></sup> も る	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っ
評価バ	A 有効性 C C C B A			効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
	有効性 有効性 C C C B A 事業の			効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っ
7 総合評価	有効性 有効性 C C C B A 事業の			効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
	有効性 有効性 C C C B A 事業の	D代替性		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
7 総合評价	有効性 有効性 C C B A 事業の	0代替性		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
	有効性 有効性 C C B A 事業の	の代替性		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
7 総合評价	有効性 有効性 C C B A 事業の	代替性自の事		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
7 総合評(	有効性 有効性 C C B A 事業の	の代替性		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る う	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
7 総合評(	A B C C B A 事業の	世間の事のとは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現して、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		効率性	コストご	あ な あ あ あ あ あ う る あ う る う る	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどう りの成果がもう少しというところがあ り、検討段階で十分話し合うことに より、成果も向上すると考える。 説明: 講師は、業務としておこなっている講師でなく大学講師等を選び、単価を低く 抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難し
7 総合評(	A B C C C B A 事業の	世間の事のとは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現して、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	経済性·	14年度で1	<ul><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□<th>あ な 善 あ な</th><th>るい地るい</th><th>受講者の発表から見るとねらいどうりの成果がもう少しというところがあり、検討段階で十分話し合うことにより、成果も向上すると考える。  説明: 講師は、業務としておこなっている講話でなく大学講師等を選び、単価を低く抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難しい。</th></li></ul>	あ な 善 あ な	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどうりの成果がもう少しというところがあり、検討段階で十分話し合うことにより、成果も向上すると考える。  説明: 講師は、業務としておこなっている講話でなく大学講師等を選び、単価を低く抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難しい。
7 総合評( 評 価	A B C C B A 事業の	世間の事のとは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現して、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	本研修は 少人数で	14年度で1 <sup>*</sup> 考察しまとめ	コストで	あな善のな	るい地るい	受講者の発表から見るとねらいどうりの成果がもう少しというところがあり、検討段階で十分話し合うことにより、成果も向上すると考える。  説明: 講師は、業務としておこなっている講話でなく大学講師等を選び、単価を低く抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難しい。
7 総合評(	A B C C B A 事業の A 事業の A M ▼	世間の事のとは、一般を表現のでは、一般を表現のでは、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現して、一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	本 経済性・ 研 を が は で が が が が が の が の に る に る に る に の に る に の に る に 。 に 。 に る に に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に 。 に る 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。	14年度で1 考察しまとめ として位置作	コストご	あな善あな	るい地るい年付後	受講者の発表から見るとねらいどうりの成果がもう少しというところがあり、検討段階で十分話し合うことにより、成果も向上すると考える。  説明: 講師は、業務としておこなっている講話でなく大学講師等を選び、単価を低く抑えている。現在も講師の厚意に頼っている面がありこれ以上の改善は難しい。

8二次評価における変更点

完 了